

教団の動き

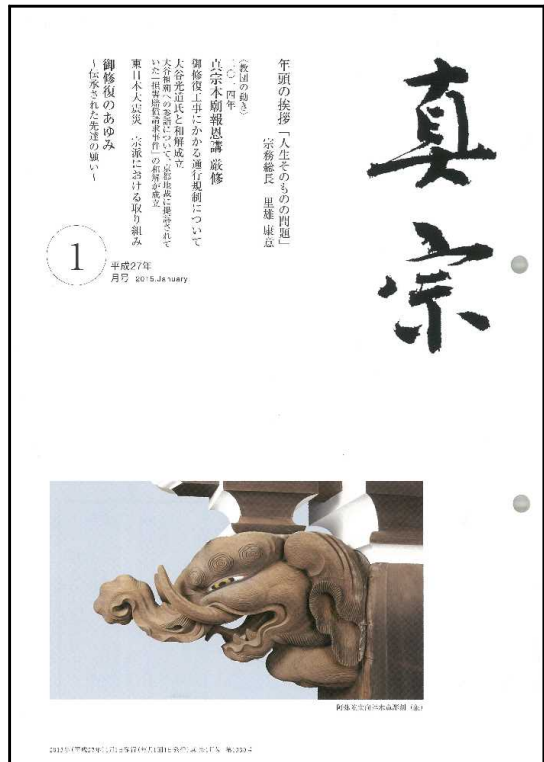
本廟部(帰敬式実践運動推進事務局)

【11/23】

第十九回「真宗本廟帰敬の集い」開催 親鸞聖人のご生涯に学ぶ―帰依三宝―

報恩講期間中の十一月二十三日、第十九回「真宗本廟帰敬の集い」が、「親鸞聖人のご生

樋口氏は、帰敬式を受式して間もない参加者に、「みなさん、自分の法名を書けますか」「いただいた法名の願いを常日頃から憶念し、自己を問い直す歩みをしてください」と優しく語りかけた。また、真宗門徒としての帰依三宝の生活について、三つの譬(もとどり)の話や自坊でのエピソードを例に伝え、時折笑いのある和やかな雰囲気の中、閉会した。参加者からは、「家に帰ったら法名をもう一度見てみます」「どんな願いがあるのか気になりました」などの声が聞かれ、真宗門徒としての自覚を新たにする貴重な時間となった。



1
平成27年
1月
2015.1.26発行



2015年(平成27年)1月26日発行(19回)16頁(別冊)A5判 発行所 真宗本廟部

↑ 真宗大谷派の宗報『真宗』
平成27年1月号



樋口祐慈氏による法話



さまざまな世代が参加した

涯に学ぶ―帰依三宝―」をテーマに真宗本廟で開催され、全国各地から約二百人が参加した。当日は、速夜法要に参拝した後、御影堂から視聴覚ホールに移動して、「帰敬の集い」を開催している。

この「帰敬の集い」は、毎年、前年七月から翌年六月末までに帰敬式を受式された方々を対象に、真宗本廟報恩講に参拝いただくことをとおして、帰敬式で誓った帰依三宝の生活の歩みを確かめる機縁となることを願っています。当日は、速夜法要に参拝した後、御影堂から視聴覚ホールに移動して、「帰敬の集い」を開催した。はじめに奥林曉参務から挨拶があり、引き続き、樋口祐慈氏(岡崎教区第十五組本龍寺住職)による法話が行われた。